

## After 売れるチラシに作り替えた例

お客様に関心を持ってもらえるように、お店の強み、特徴を大きく太く、見出しに持ってきます。

カレーの元気なイメージを表現するために、太陽の形にしています。

必要な情報を整理して絞みましょう。行間をあけ気味にすると読みやすくなります。

余白の面積にも変化をつけて、メリハリを出しましょう。

お客様にとってメリットになる情報は目立つようにしましょう。

伝えたい情報は目立たせ、そうでない情報は思い切って小さくし、メリハリを付ける事で読みやすくなります。

大、中、小と大きさを変えたり、写真を断ち切りにして広がりを持たせることで、メリハリが出ています。

色に関してもレイアウトと同じで、色のメリハリをつけましょう。

この配色は、赤、橙、黄の3色のカマイユ配色(同系色の配色)で、背景に奥行きを感じさせます。

アクセントカラーで反対色の青を加える事で、色にメリハリが出てきます。



小見出しを、本文より大きくして差をつけることで、どのような内容が書かれているのか一目で分かります。

この写真は黒い面積が広いので、小さくすることで他の写真とバランスをとっています。

方向がわかる情報が載っているので、お客様に、お店のおおよその位置を把握してもらえます。

営業時間や、電話番号が大きく載っているので、お客様が来店しやすくなります。

使用しているフォントの種類が2種類ほどなので、すっきりして見えます。

カレー好きには  
たまらない!

**カレー専門レストラン**  
こだわりのスパイス!

インド固有の言語には「カレー」という言葉はない。  
食事・おかずなどを意味する「カリ」(タミル語 kari)という言葉があり、それが英

こちらの4つの書体は太さが違うだけで、同じ種類の書体です。